

こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< 107 2012.12.9 連絡先 402-1622 >

一般質問

介護予防はすべての高齢者を対象にすべき！ 市民の不安をとりのぞくような市政を！

12月5日、一般質問を行いました。

一つは、介護予防について。介護認定を受けていない方で、二次予防対象者（チェックリストにより訓練が必要と認められた方）に事業の対象を絞ったことで、一般の高齢者が事業の対象からはずれてしまったことから、介護予防事業は、すべての高齢者を対象にするべきであると主張しました。

二つめは、がん検診の受診率が低いことから、死亡率を下げるためにも受診をうながす手だてをつくすよう求めました。また、河西地域にお住まいの方は、特に健康被害に不安を持っておられることから、市内の地域ごとの肺がん死亡率の調査を求めましたが、市は「市内全域の対策」と言うのみでした。市民の苦しみに寄りそい不安を取り除くような市政をと求めました。

市は今年度、65才から74才の方に運動機能や生活力の自己チェックリストを送付しています。をつけるだけの簡単なものです。まだ返信されてない方、締め切りは過ぎていますが、ぜひ記入して送ってください。身体の状態を判定して送り返してくれます。

みち子のひとりごと 「平和」思いだすこと

入りました。
今、再び戦争への道を進もうする力がはたらいています。いつか来た道を進ませないように、今ががんばりどき！子どもたちよ、母はがんばるよ！。



私が小学校低学年の頃、夏休みの宿題で「戦争体験を聞いてくる」というものがありました。私は夏休みに遊びに行ったときに祖母に話を聞きました。
その具体的な話の中身は記憶からは消えています。祖母が「大変だったんよ…」と泣きながら話してくれました。ただだけは鮮明に覚えています。とても優しい祖母を泣かせる戦争は絶対にいけないことだと、その時に強く感じたことも覚えていません。
大人になって結婚し、母親になって改めて平和の大事さを感じ、平和な社会を子どもたちに手渡したい、戦前のような「モノ」が言えない社会に戻しては行けない、そのためにできることはと考え、戦争反対を貫いてきた日本共産党に

12月定例市議会一般質問通告表

順	通告議員	会派	質問事項	質問項目
1	戸田 正人	絆クラブ	国際交流について 教育行政について	
2	松坂美知子	共産党	介護予防について 地域保健について	
3	奥山 昭博	公明党	スポーツ振興について 観光振興について 交通政策について	つつじヶ丘テニスコートの有効活用 友ヶ島の活性化 朝夕の交通渋滞の緩和策
4	渡辺 忠広	共産党	場外馬券売り場設置計画について 新日鐵住金について	市の対応について 合併における和歌山市経済、雇用へ
5	園内 浩樹	公明党	防災行政について 脱法ドラッグについて	津波避難場所について 現状と対策について
6	山本 忠相	民主クラブ	生活保護について	
7	森下佐知子	共産党	教育行政について	
8	島 幸一	絆クラブ	まちなかの再生について	
9	姫田 高宏	共産党	事業のあり方や進め方とその評価について	防災無線の改善 テニスコート建設 市民会館の耐震化 2011年度決算報告書 など
11	南畑 幸代	共産党	産廃処分場建設問題について 障害者福祉施策について	
12	芝本 和己	市民クラブ	貴志川線の今後について 動物愛護の取り組みについて	
13	中村 協二	絆クラブ	市政各般について	和歌山の文化について イナ池の将来計画について 高齢者ハンドブックの作成について 介護予防の健康体操

日本の巨大メディアを考える ② 志位和夫

私は、「しんぶん赤旗」がいま果たしている役割は、政党機関紙という枠をはるかに超えたものだと思います。国民が、世の中の真実、事実を知りたいと思つたら、日本の問題でも、世界の問題でも、「しんぶん赤旗」は不可欠の存在です。巨大メディアが決して報じようとしないう、真実を伝える新聞が、「しんぶん赤旗」であり、またそれは国民にとつて、今の政治と社会の行き詰まりを打ち破る展望はどこにあるのか、希望を運ぶ新聞でもあると思います。

私たちは、こういう素晴らしい人民的メディアをもっているわけですから、その読者の方々を一人ひとり増やし、読者の方々としてかりと結びついていくことがどんなに大切か、その意義ははかり知れないと、私は考えています。この点で、みなさんのご協力を、心からお願いするものです。

(おしまい)

ご愛読ありがとうございました。